

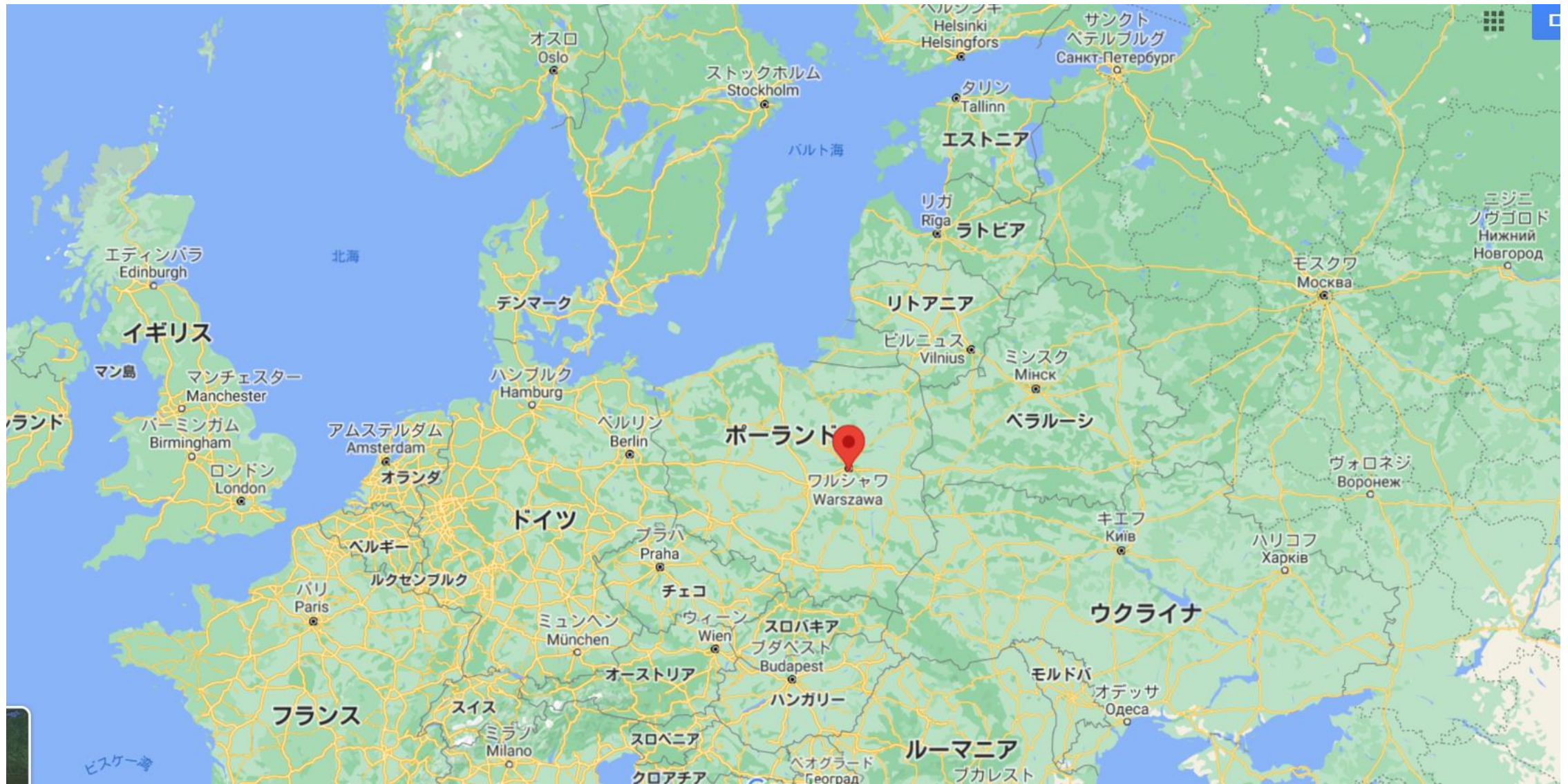
2021/4/23 (金)  
インターネット世界旅行

# ポーランド ワルシャワの巻

[はじめての旅行の前にチェック【ワルシャワ観光ガイド】 | 海外旅行のSTW \(stworld.jp\)](#)

この資料は、インターネット上の情報を利用して作成しました。

吉岡 芳夫



# ポーランド

## 主要都市 [\[編集\]](#)

	都市	県	人口
1	ワルシャワ	マゾフシェ県	1,710,055
2	クラクフ	マウオポルスカ県	754,624
3	ウッチ	ウッチ県	747,152
4	ヴロツワフ	ドルヌィ・シロンスク県	633,000
5	ポズナン	ヴィエルコポルスカ県	556,022

- ユキツツ、ワルシャワ、ワロツワフ、ウッチ、ポズナン、クラクフ、マゾフシェ県、マウオポルスカ県、ウッチ県、ドルヌィ・シロンスク県、ヴィエルコポルスカ県。ワルシャワは首都であり、歴史が長い都市で、観光地としても知られています。また、ワルシャワは、ヨーロッパの文化と芸術の中心地であり、多くの博物館や美術館があります。
- 2016年1月からはLOTポーランド航空が日本から就航し、ますます身近になります。



# ワルシャワとは

- 「北のパリ」「音楽の都」とも言われる中欧ヨーロッパ、ポーランドの首都ワルシャワ。
- 1980年に世界遺産に登録されたワルシャワ歴史地区は、実は第二次世界大戦のドイツ軍の空襲によりほぼ壊滅的になった町。
- 古く見える現在の旧市街は、戦後ポーランド人の努力により過去の町を絵や写真そして記憶をもとに復元されたもの。
- 今では、世界遺産になっています。



## 復元された旧市街広場

- ゆや教つ  
ン館架眠  
ン博物字が  
ヨ博十臓  
シン聖心  
の、パ、の  
の、園、の  
気シ公パ  
人。キヨ  
も地。シ  
でのエは  
日本リジに  
日かワ会  
て
- 歴街と広連  
世界中心街が  
世旧中市物  
は、を新建  
はる場とな  
所い広場的  
場て宮広史  
るれ王街歴  
なさ旧市、  
と録。旧り、  
ン登ア。あ  
イにりて、  
メ史エし場  
な
- れ、クはの  
さッ度ン  
置シーパ  
設ッもヨ  
がラてシ  
チクくる  
ンとなあ  
ベすくが  
の押し事  
パンを詳た  
パンにしが  
ヨタ樂に曲  
シボ音耳名
- 歩スみく  
街、ドし  
く、ン楽  
多ラお  
も一を  
エポエ  
フらフ  
力た力  
なれと  
落疲ツ  
酒に一  
おきイ  
だ



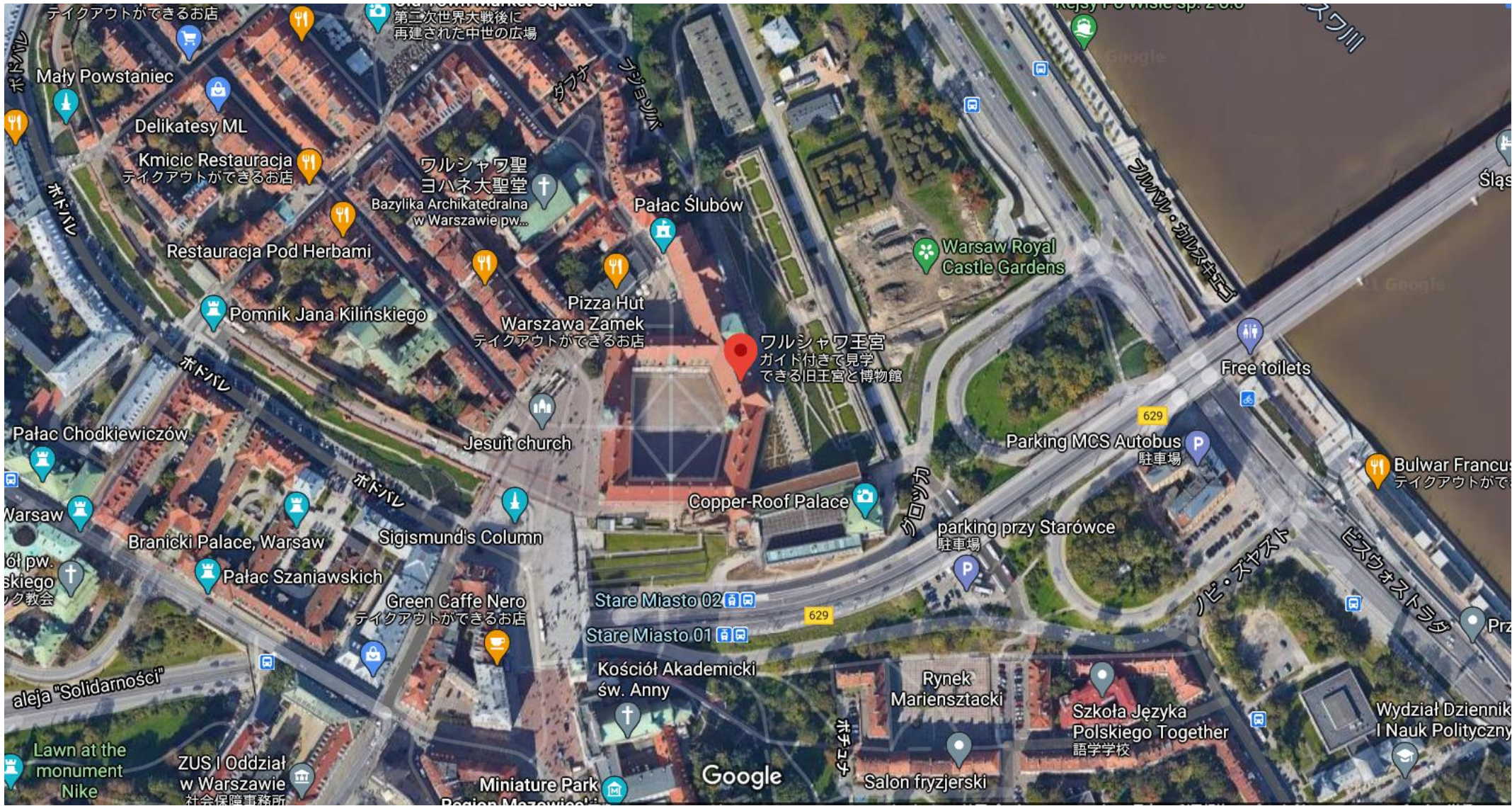
# 行き方と日数

- 毎日運航している成田発のカタール航空便を利用するのが普通ですが、ドーハ乗り継ぎを含めて22時間かかります。
- 最も短時間でいきたいときは、ポーランド航空のワルシャワ行の直行便11時間を利用します(日にちは限定されます)。
- 旅行日数は、ワルシャワのみの滞在だったら、最も短くて5日間です。しかし、8日間のプランがおすすめだそうです。
- 8日間あれば、ワルシャワを含めた2都市滞在が可能になり、さらに楽しいご旅行になること間違いなしとのこと。

# 目次

1. 旧王宮
2. 聖十字架教会
3. ショパン博物館
4. バルバカン砦
5. 旧市街市場広場
6. ワルシャワ蜂起記念碑
7. ワジェンキ公園
8. 文化科学宮殿
9. ヴィラヌフ宮殿
10. ポーランド・ユダヤ人歴史博物館





# 旧王宮



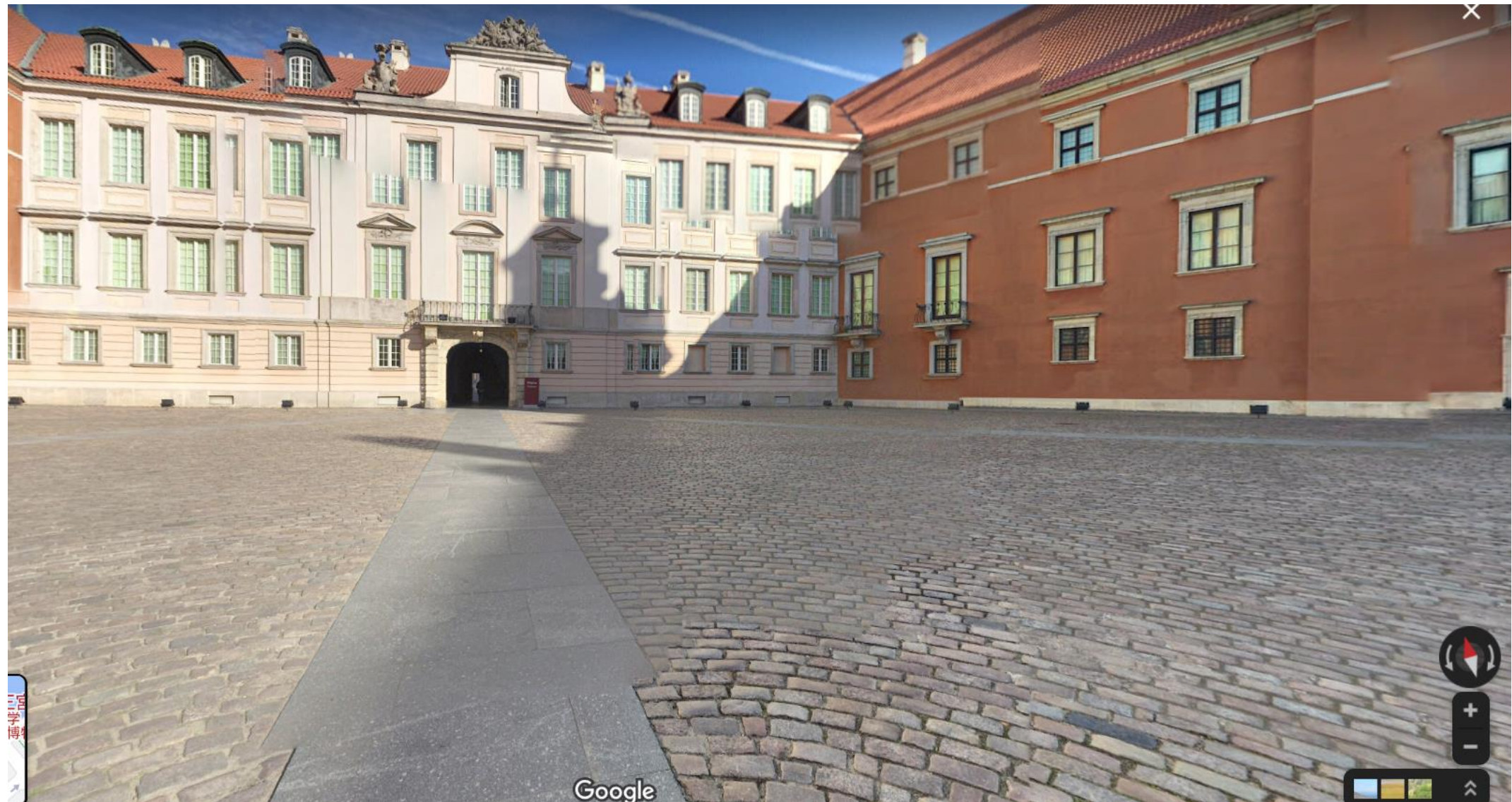
ナチスにより徹底的に破壊され1988年に復元を完了した旧王宮。

かつては国の行政や文化の中心地として栄えていた。

王宮内はとても豪華絢爛。22人の歴代王の肖像画も並び当時の華やかな生活を垣間見ることが出来る。

現在は博物館になっておりナチスの攻撃を免れた調度品や美術品が展示されている。





# 戦後に再現された王宮



## 1. 旧王宮



きらびやかな装飾で飾られた「旧王宮」は歴代の王の住居。

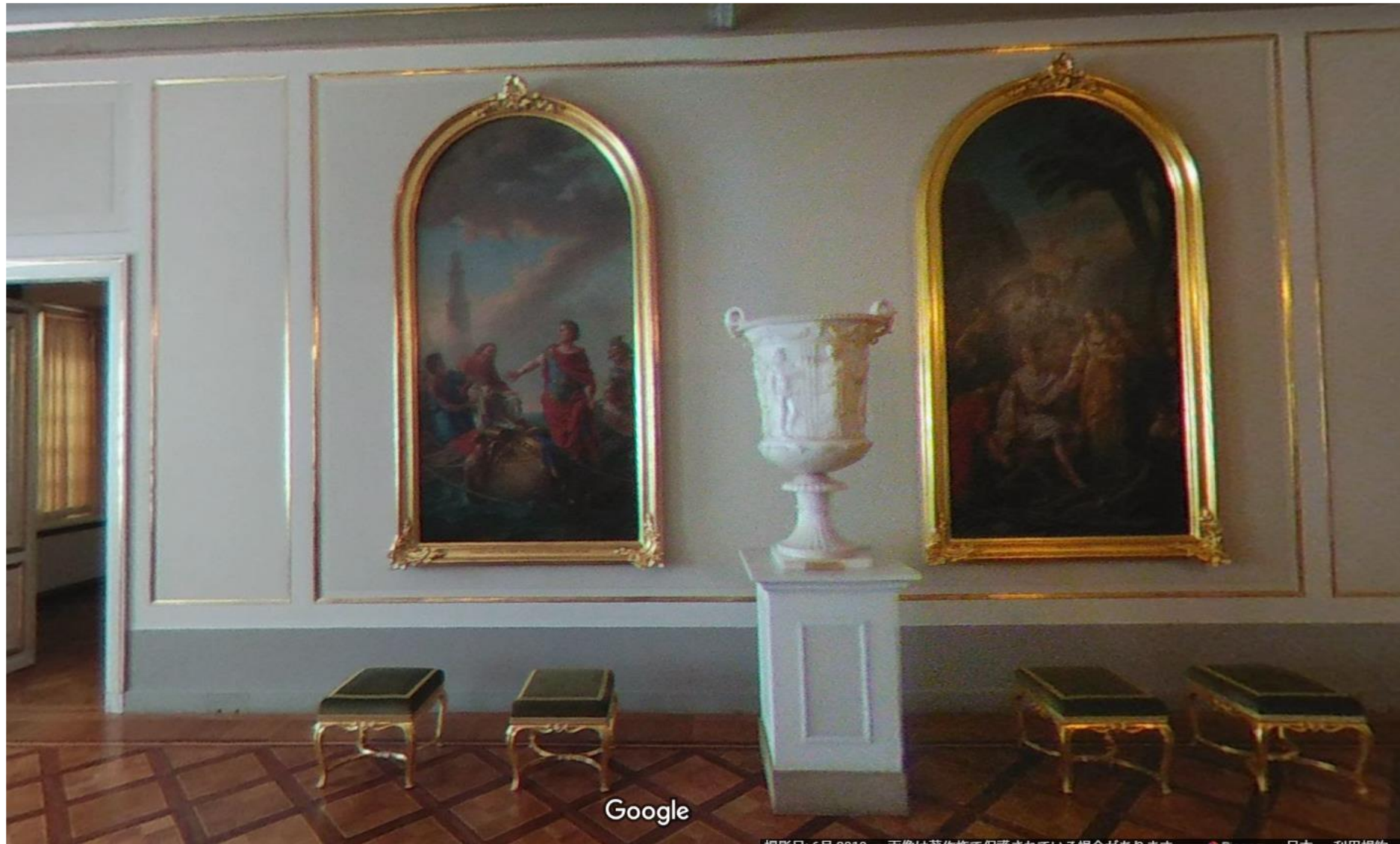
大戦中に建物は被害を受けたものの、価値の高い調度品などは国外に持ち出されていたおかげで難を逃れることができた。

復元作業は1988年に完了し、美しい姿を取り戻している。

旧王宮前の広場には、クラクフからワルシャワへ首都を遷都したジグムント3世の碑もある。



[ワルシャワ王宮 - Google マップ](#)

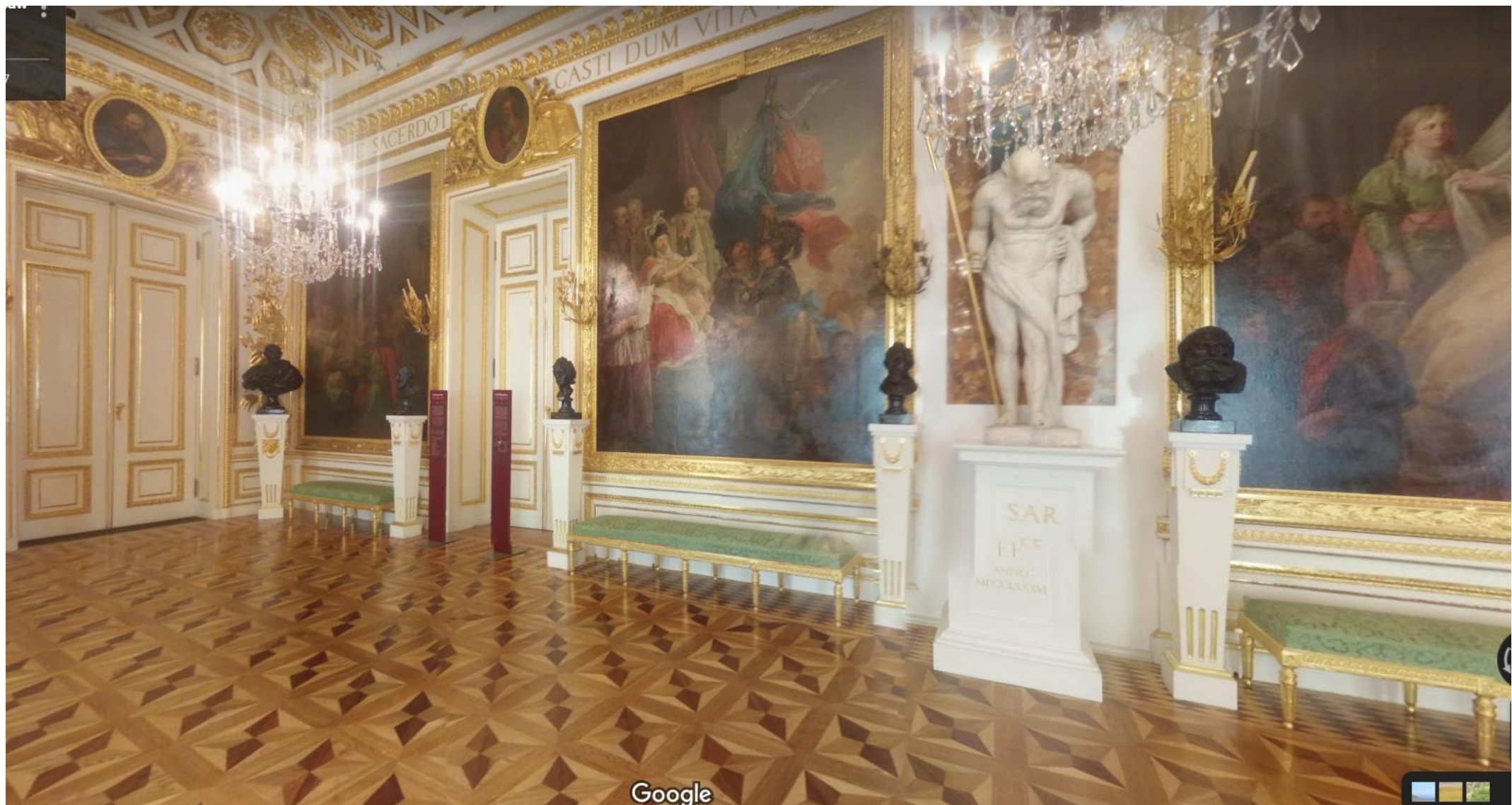


旧王宮

[ワルシャワ王宮 - Google マップ](#)



[Presidential Palace, Warsaw - Google マップ](#)





# 聖十字架教会

[16 クラコフスキエ・プシェドミエシチュエ - Google マップ](#)



ワルシャワの中心地にある「聖十字架教会」、正面入り口には十字架を背負ったキリスト像がある。

遠くからは2つの尖塔、近くまできたら十字架を背負ったキリスト像を目印になる。

教会の近くには、ショパンがポーランドで最後に住んでいた家もあるそうだ。

# 聖十字架教会

- 教会に入って左側、手前の柱の中にある“ショパンの心臓”。遺体はフランス、パリにありますが、心臓があるのはポーランド、ワルシャワ。
- ヨーロッパでは（聖職者や貴族など）一部の身分の高い人や著名人の遺体と心臓を別葬することがあったそうで、それを考えると決して不思議なことでもありません。ただ彼の場合、「密かに」というところが他と大きく違うところ。
- 祖国をこよなく愛しながらも、ロシアなど列強の支配下にあった祖国への帰国は叶わず。せめて心臓だけは祖国に埋葬してほしいというのが、ショパンの生前からの願いでした。彼の最期を看取った姉は、決死の覚悟で“ショパンの心臓”をドレスの下に隠して国境を越えたとか。
- ショパンはその才能だけでなく、祖国愛の象徴としてポーランド人の誇りとなっています。柱に記されているマタイ伝のフレーズからもそのことが伝わってきます。



[聖十字架教会 - Google マップ](#)



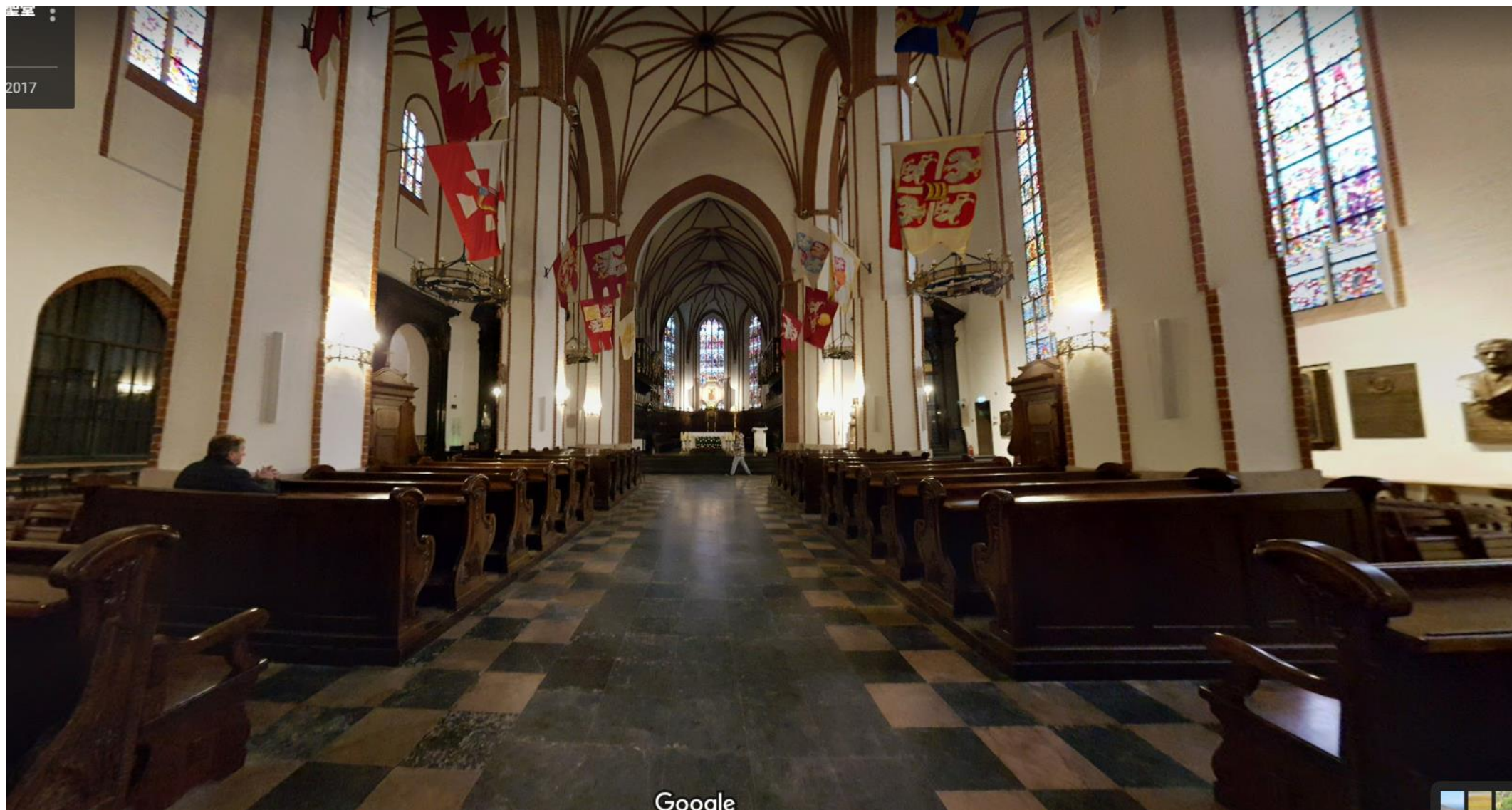
[聖十字架教会 - Google マップ](#)



[聖十字架教会 - Google マップ](#)



[ワルシャワ聖ヨハネ大聖堂 - Google マップ](#)



# ショパン博物館

ショパンはポーランドの音楽家。  
ぜひ訪れてほしい場所はショパン博物館。

博物館の外観は中世のイメージ。  
しかしの内部は現代のテクノロジー  
を駆使した見せ方になっている。  
もちろんショパンの生い立ちから最  
後には本物のデスマスクならぬデス  
ハンドまであり、地下の音楽が聴ける  
スペースでは、ゆっくりとショパン  
の音楽を味わうことができる。

ショパンは、小人数での演奏会が好きだった

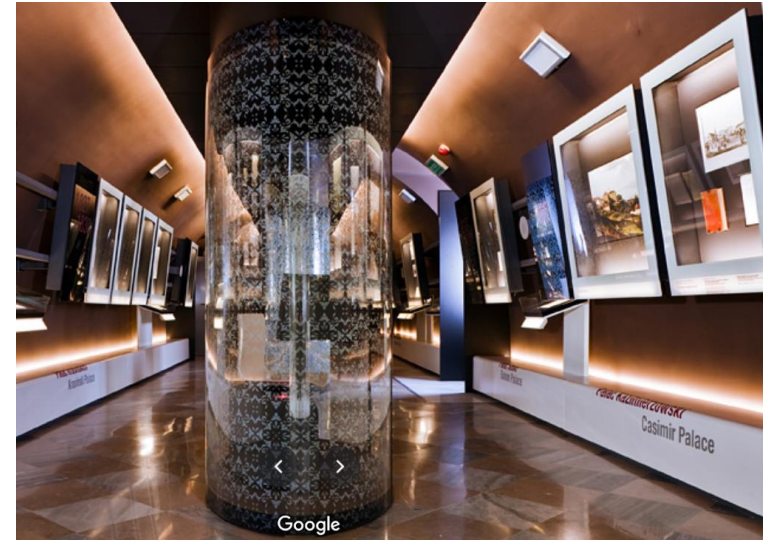




# ショパン博物館

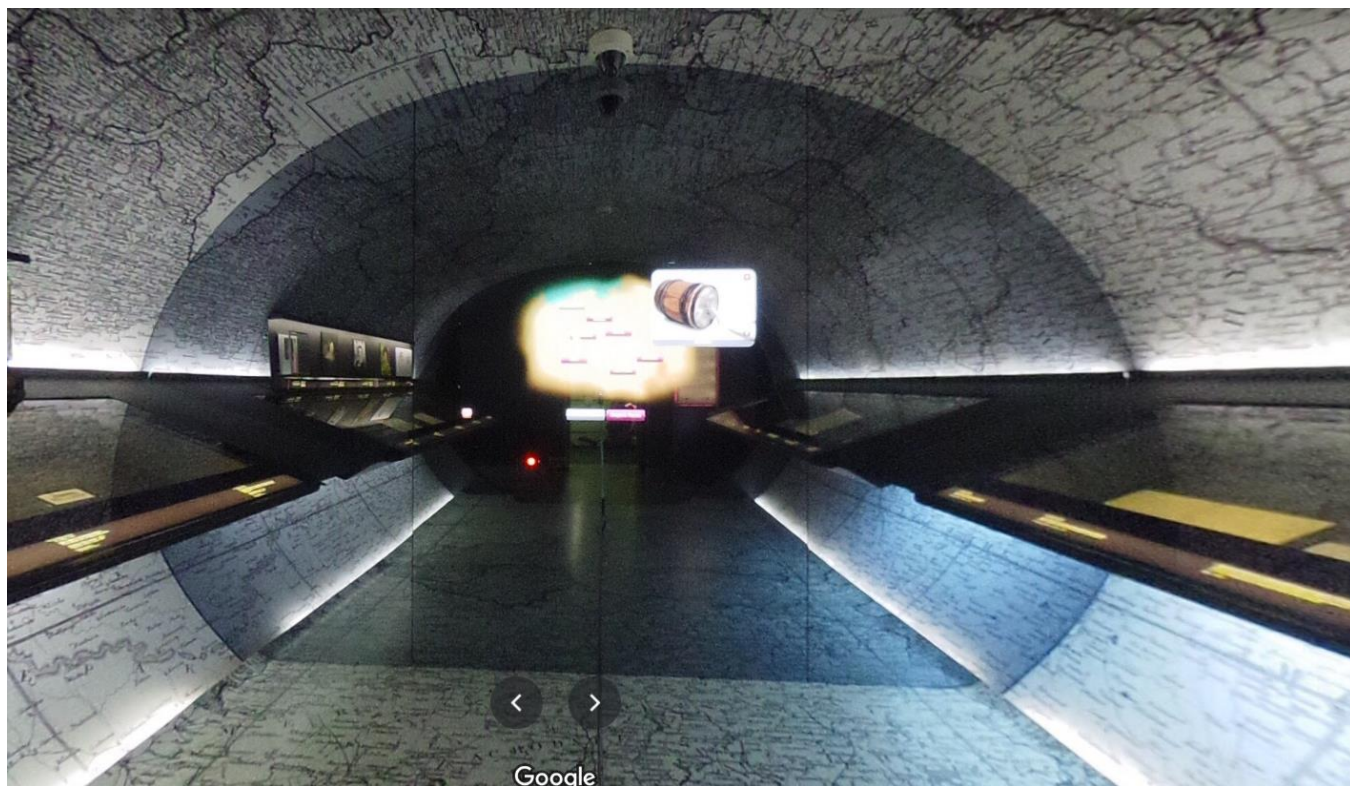
- ポーランドの首都ワルシャワにある「ショパン博物館」は、ピアノの詩人と呼ばれた19世紀の音楽家F.ショパンに関するありとあらゆる資料が揃った一大ミュージアム！
- 最新の設備とユニークな演出で紹介されるショパンの作品の数々は、クラシック音楽ファンだけでなく誰でも楽しめる観光スポットだ。
- ショパン博物館の建物は、真っ白な壁面と赤い屋根が特徴の西洋建築。元々この建物は、ポーランド・リトアニア共和国の貴族Janusz Ostrogski（ヤヌシュ・オストログスキー）が16世紀から17世紀にかけて建てた宮殿で、惜しくも第二次世界大戦中に焼失してしまっていたが、1954年に再建された。
- 再建から半世紀以上経つものの、2010年にショパン生誕200周年を記念してリニューアルオープンした事によって、外壁なども真新しく生まれ変わった。
- 地上3階とコンパクトながら、歴史あるバロック建築と新古典主義建築を融合させた白亜の城は美しく、見る者を魅了する。

フレデリック・ショパン博物館 - Google マップ



上の建物にはピアノを弾くショパンの姿とその関係者が描かれた何ともユニークな作品。

## フレデリック・ショパン博物館 - Google マップ



2010年の改装後、ショパン博物館はデジタル技術を駆使したハイテクな博物館に生まれ変わった場の受付を済ませると、チケットとして渡されるのは一枚のICカード。これを館内の様々な所にあるセンサーにかざすと、そこからショパンの音楽や映像が流れるという何ともユニークな仕掛けが多数用意されている。

ショパンに関する資料の充実ぶりは世界一！7000点ものコレクションの中には、ショパンが生前に弾いていたとされるプレイエル製のグランドピアノやデスマスク、またショパンの手をかたどった銅像など、ここでしか見られない貴重な資料が盛り沢山だ！



また、この博物館では音遊びも充実！マークの上に乗ると音が鳴り、それを複数人でやると合奏が出来るアトラクションがある等、ショパンの音楽にあまり馴染みの無い方でも十分に楽しめる施設となっている。

[ショパン音楽アカデミー - Google マップ](#)



# シヨパン像 - Google マップ

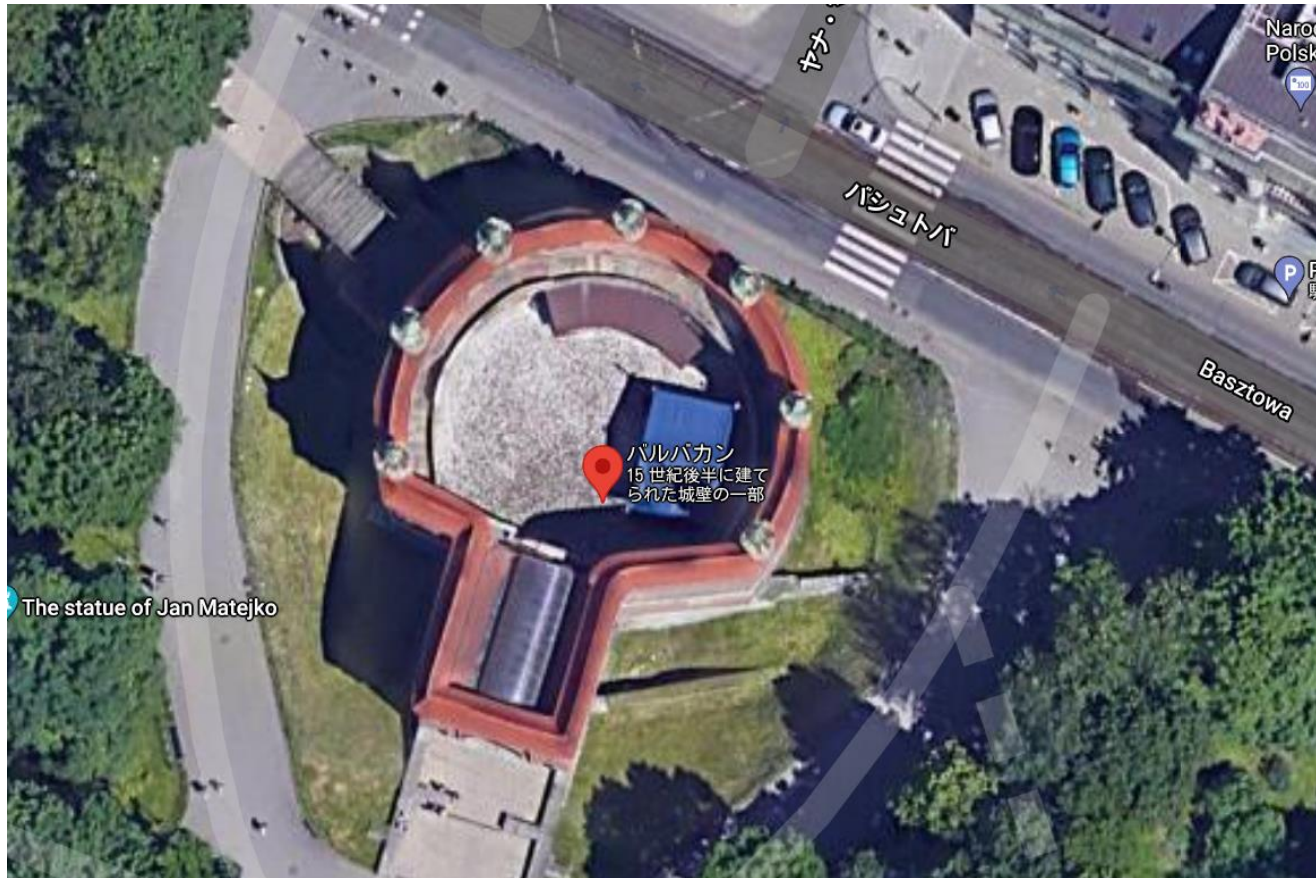


# ワジェンキ公園のショパンの像

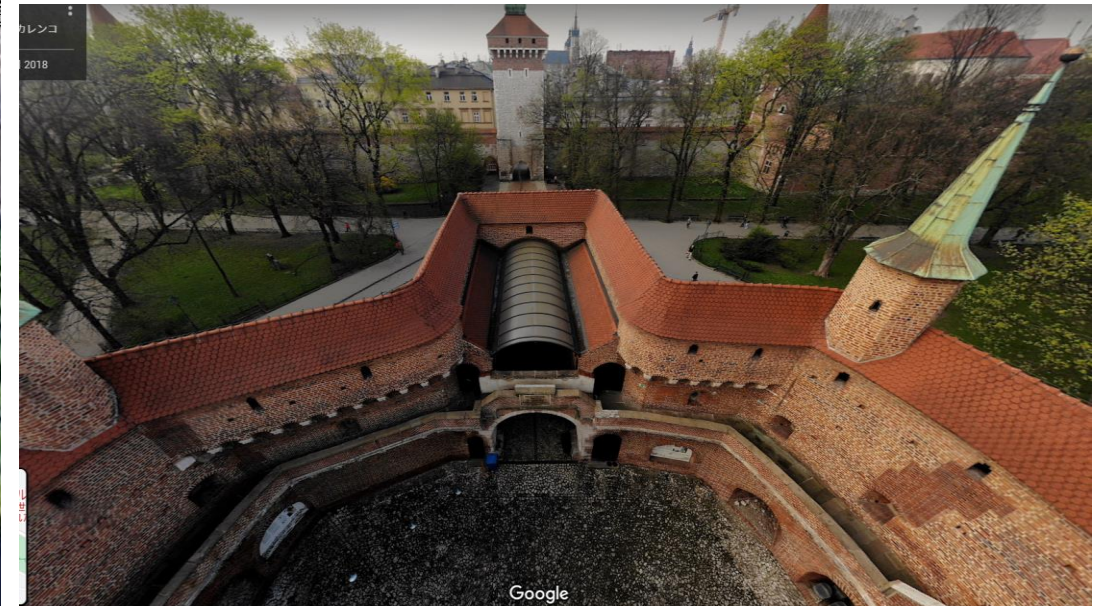


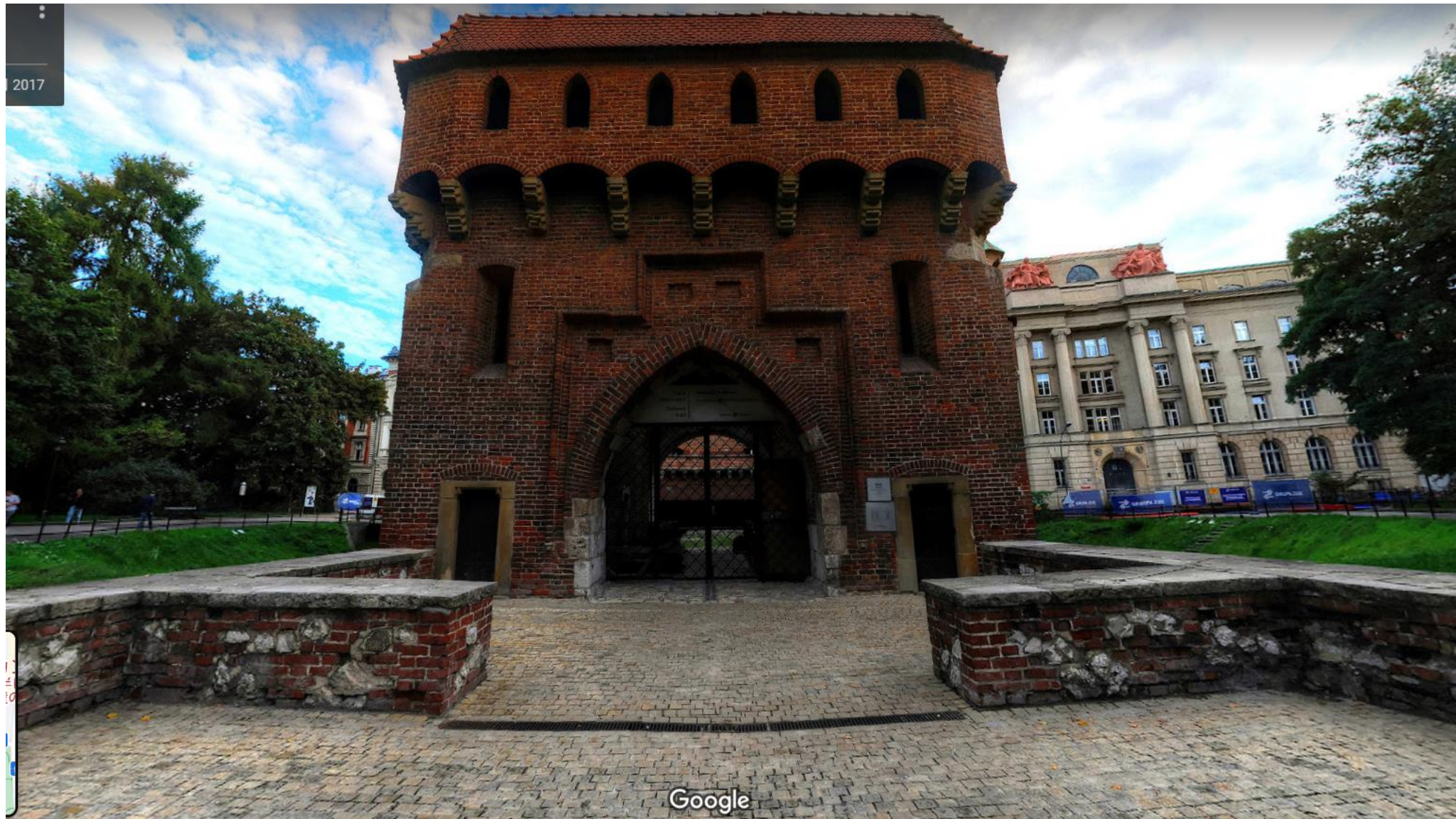
# バルバカン砦

[created by dji camera - Google マップ](#)



バルバカンは、16世紀中頃、旧市街を囲む市壁を強化するために建設された。旧市街を囲む市壁に付随しているバルバカンは、バロック様式の砦で、馬蹄形をしている。馬蹄形の砦は大変珍しく、ヨーロッパでもワルシャワのバルバカンを含め、3つしか現存していないようだ。







# ポーランドの首都ワルシャワの旧市街地広場

- ワルシャワの歴史地区である。
- 13世紀に城塞都市として建設された旧市街は第二次世界大戦時にナチスにより破滅的なまでの破壊攻撃を受けた。
- 街は跡形もなく崩れ去り、誰もが復興は無理と思っていたがワルシャワの人々は決してあきらめなかった。
- 元の建造物に使われていたレンガを使い、建築学の教授ザッフアトヴィッチ氏とその弟子たちが書き留めておいたスケッチを元に建物のヒビまでも再現するという偉業を成し遂げたワルシャワの人々。
- ワルシャワのシンボルである王宮を復興させたことで街と共に歴史も蘇らせることに成功した。
- 広場には、オープンエアのカフェや、露天画商がずらりと並んでいる。
- 300年以上の歴史があるレストラン「ウ・フキエラ」をはじめ、高級レストランも多い。
- 古くから変わらないように見える美しい町並みだが、これらはすべて第2次世界大戦末期に徹底的に破壊された後、忠実に復元されたものだ。

[Old Town Market Square - Google マップ](#)

旧市街市場広場　ここから、街のほうへ歩けます。





# 旧市街市場広場



## ワルシャワ, マゾフシェ県 - Google マップ

ここから、旧市街を散歩しましょう。



ワルシャワの中心地にある旧市場広場は人々の復興への願いを最も感じることができる場所。

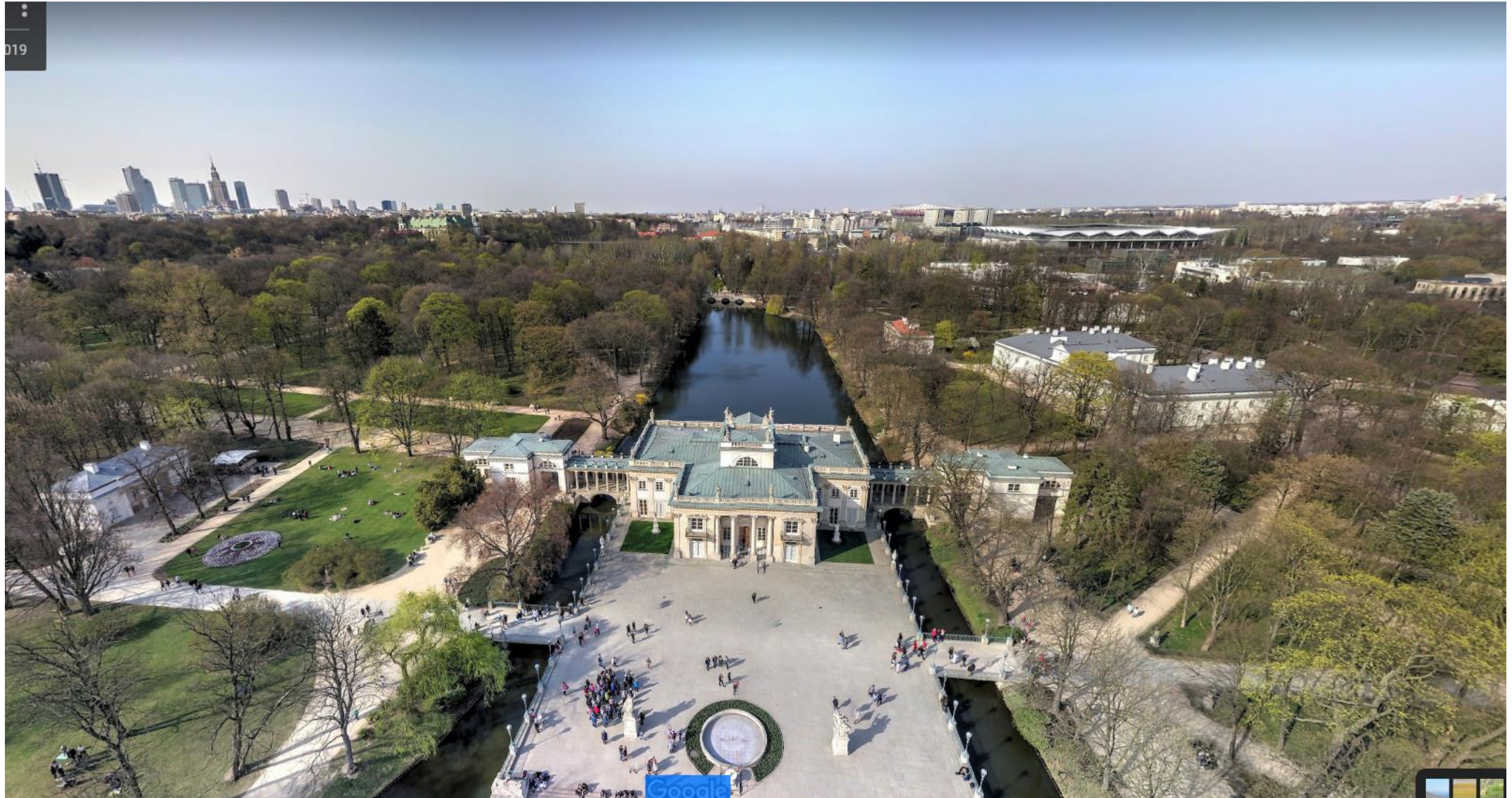
カラフルで華やかな家々が周囲を囲み、観光客人気の広場となっています。

また、広場の中心にはワルシャワのシンボルである人魚の像がある。



# ワジェンキ公園

- 週末のデートやワルシャワ市民の憩いのための場所。
- この公園と宮殿の複合施設は、落ち着いた緑地と絢爛豪華な水上宮殿が有名です。
- 公園の中心地は、もとは17世紀にスタニスワフ・ヘラクレシュ・ルボミルスキのために建てられた個人用の浴場でした。
- その後、1772年に正式にプライベート・ガーデンとなり、現在では宮殿、彫像、パビリオン、カフェ、池とその島にアンフィシアターがあります。
- ワジェンキ公園は、地元のワルシャワっ子がやっているとおりにリラックスするのに最適な場所です。
- ショパンのモニュメントを鑑賞するもよし、水上宮殿の前でたたずむのもよし、芝生に横になってポーランドの公園の休日を楽しむもよし。あまりに快適で、きっと“ずっとここにいたい”と思うにちがいありません。







## 街中に共産主義時代の廃墟が残っている



戦後、ポーランドはソビエト連邦に占領され1989年、つい最近までマルクス・レーニン主義の共産主義社会だった。戦後のソ連支配下では自由のきかない暗い時代だた。今でもソ連時代の寂しい感じのする建物が街のあちこちにポツンポツンと建っている。近代に歴史にも触れることのできるワルシャワはとても魅力です。

# 文化科学宮殿

- 文化科学宮殿の建設は1952年に開始され、1955年に完成した。
- スターリンによって、ソビエト連邦からのポーランド人民への贈り物としてワルシャワ市内に建設された。
- 文化科学宮殿はソビエト当局によって設計され、ほぼ全工程に渡ってソビエト連邦から派遣された3500人の労働者によって建設された。
- 文化科学宮殿の建築様式は、同時期にソ連国内に多数建設されたスターリン様式（またはスターリン・アンピール、スターリン・ゴシック様式とも）の摩天楼と同様のデザインである。
- 特に最もデザイン的に類似点が多いとされるのが、モスクワ大学本館である。しかし、主任設計士であった建築家レフ・ルネフは、文化科学宮殿の建造に当り、ポーランドの伝統的な建築様式を部分的に取り入れた。
- 記念碑を埋め込んだ壁には、ポーランドの古都クラクフとザモシチにあるルネサンス様式の宮殿に範を採った石柱などが見られる。



# 文化科学宮殿

[John III Sobieski Monument - Google マップ](#)

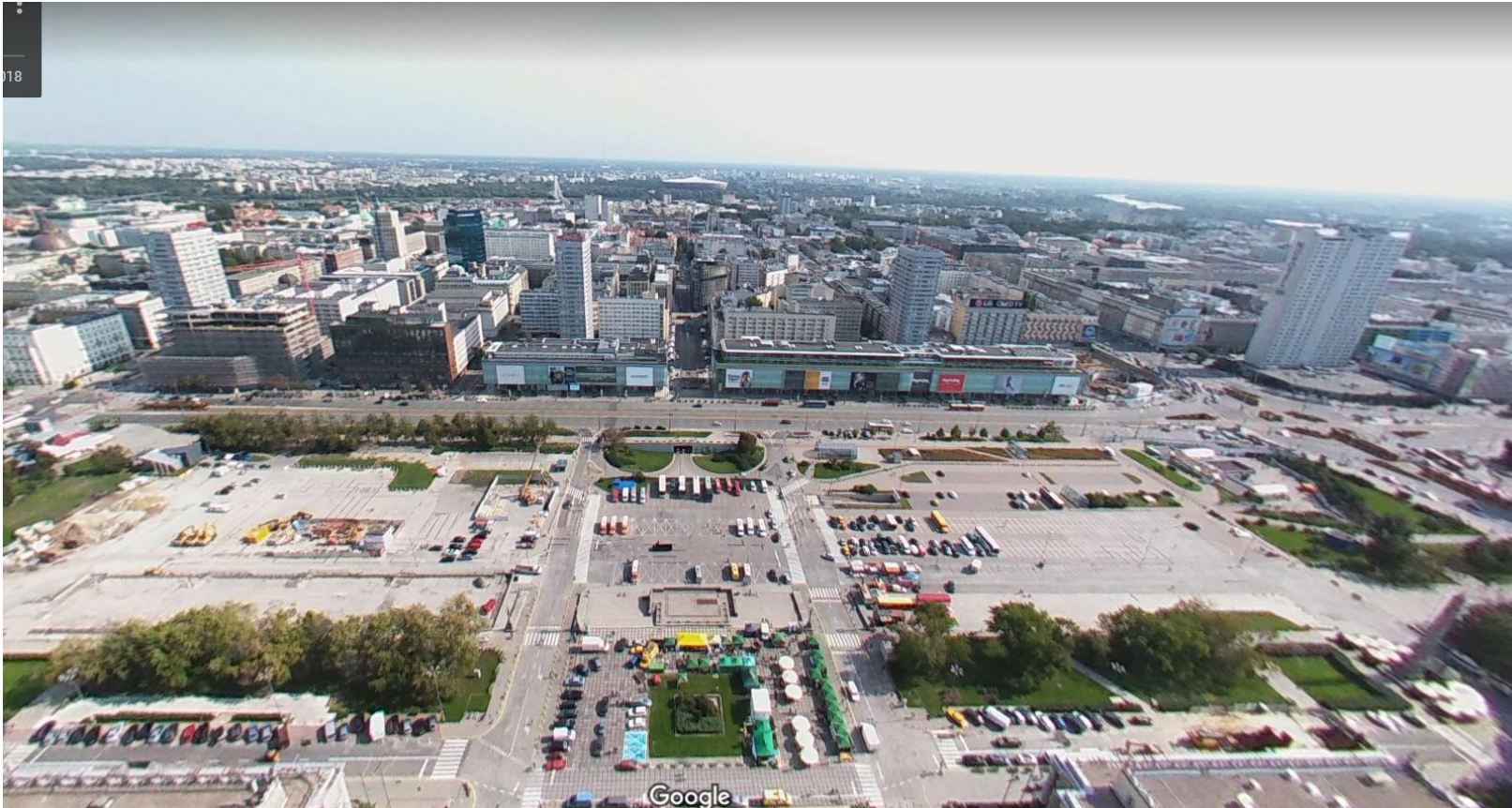


[文化科学宮殿 - Google マップ](#)

1950年代の  
ソビエトゆかりの芸術と  
文化のための建物



文化科学宮殿からの眺め



文化科学宮殿は、高さ237メートル、42階立て、尖塔の高さは49メートルあり、総室数は3288室。

地震の少ない地域のため柔構造を取る必要がなく当時の技術で作ることが出来た。

全体の総床面積は2万3000平方メートルで、その内部には3000人を収容できる映画館、劇場、博物館、書店、会議場及び展示場を擁する。

東欧革命による社会主義体制崩壊後は、企業のオフィスが多数入居している。

また、FMラジオ及びテレビ放送の送受信場としての役割も担っている。

## ヴィラヌフ宮殿 - Google マップ



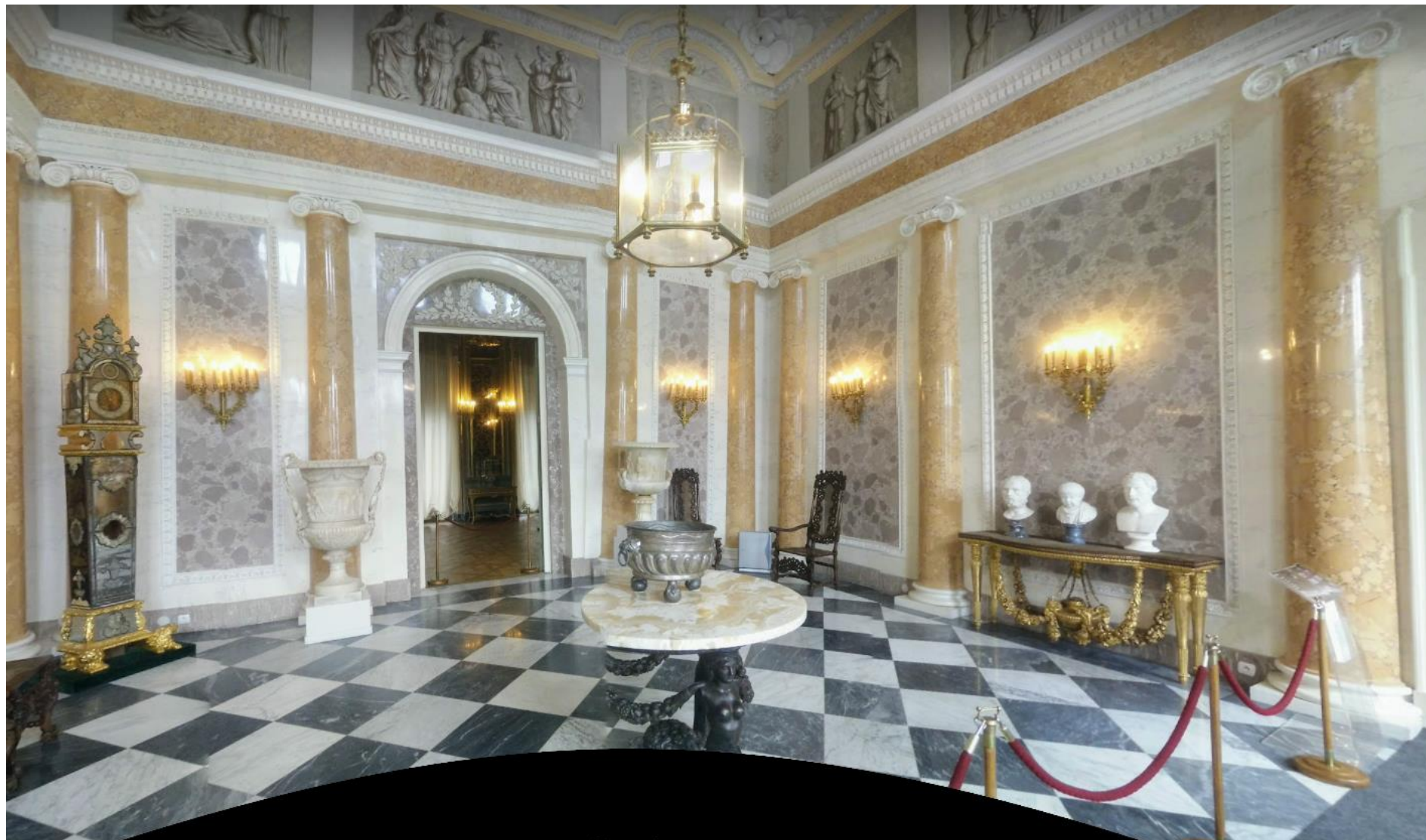
ヤン3世ソビエスキの夏の宮殿として17世紀に建築された。

現存するものは18世紀に拡大されたもので、イタリア人建築家による建造物。

宮殿には、ヤン3世が集めた家具、時計、中国陶器、肖像画などの美術品の数々が残されている。

宮殿を取り囲む庭園もすばらしく、パリ郊外のヴェルサイユ宮殿にも似た美しい庭園である。

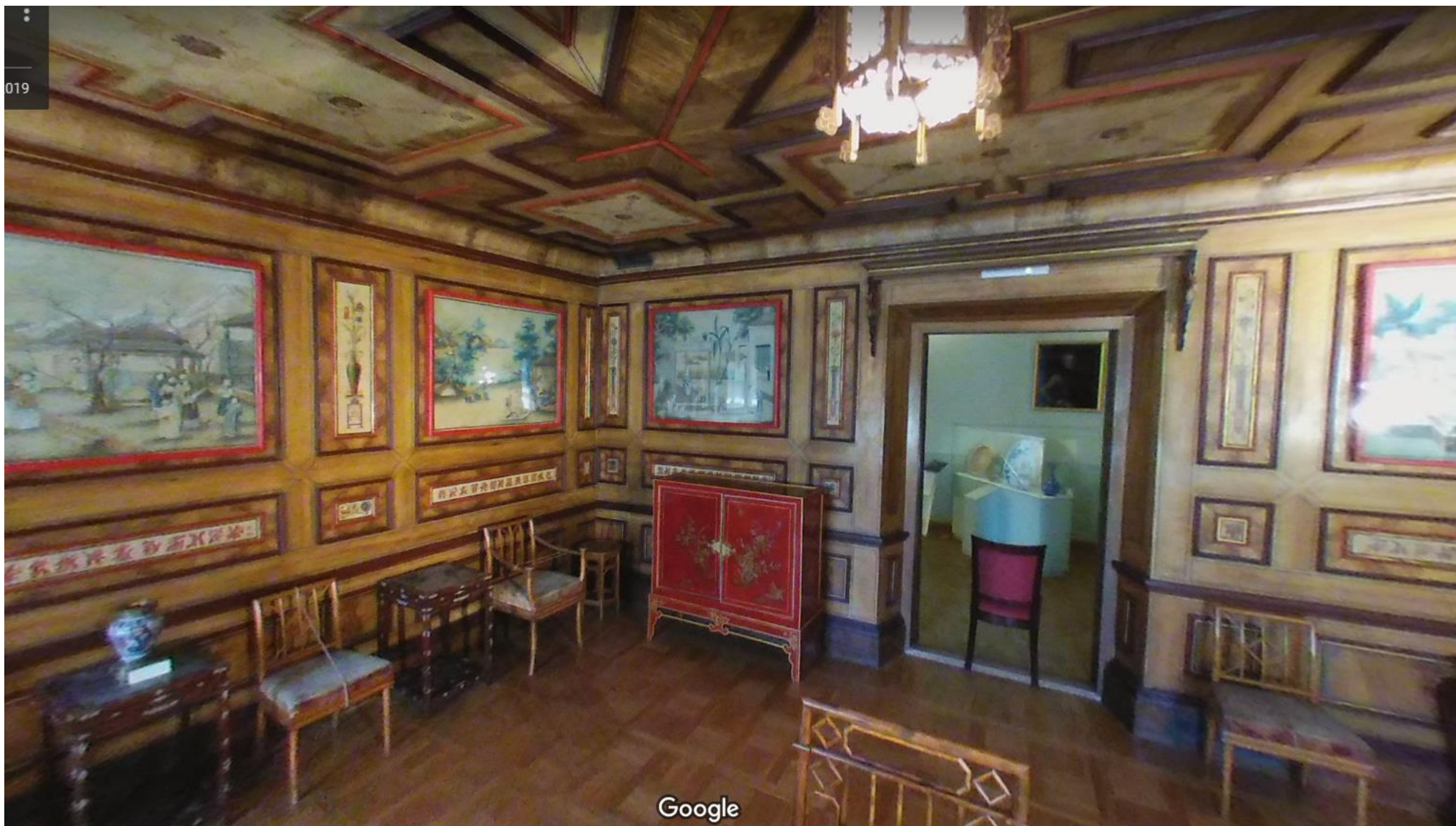
[ヴィラヌフ宮殿 - Google マップ](#)



[ヴィラヌフ宮殿 - Google マップ](#)



[ヴィラヌフ宮殿 - Google マップ](#)





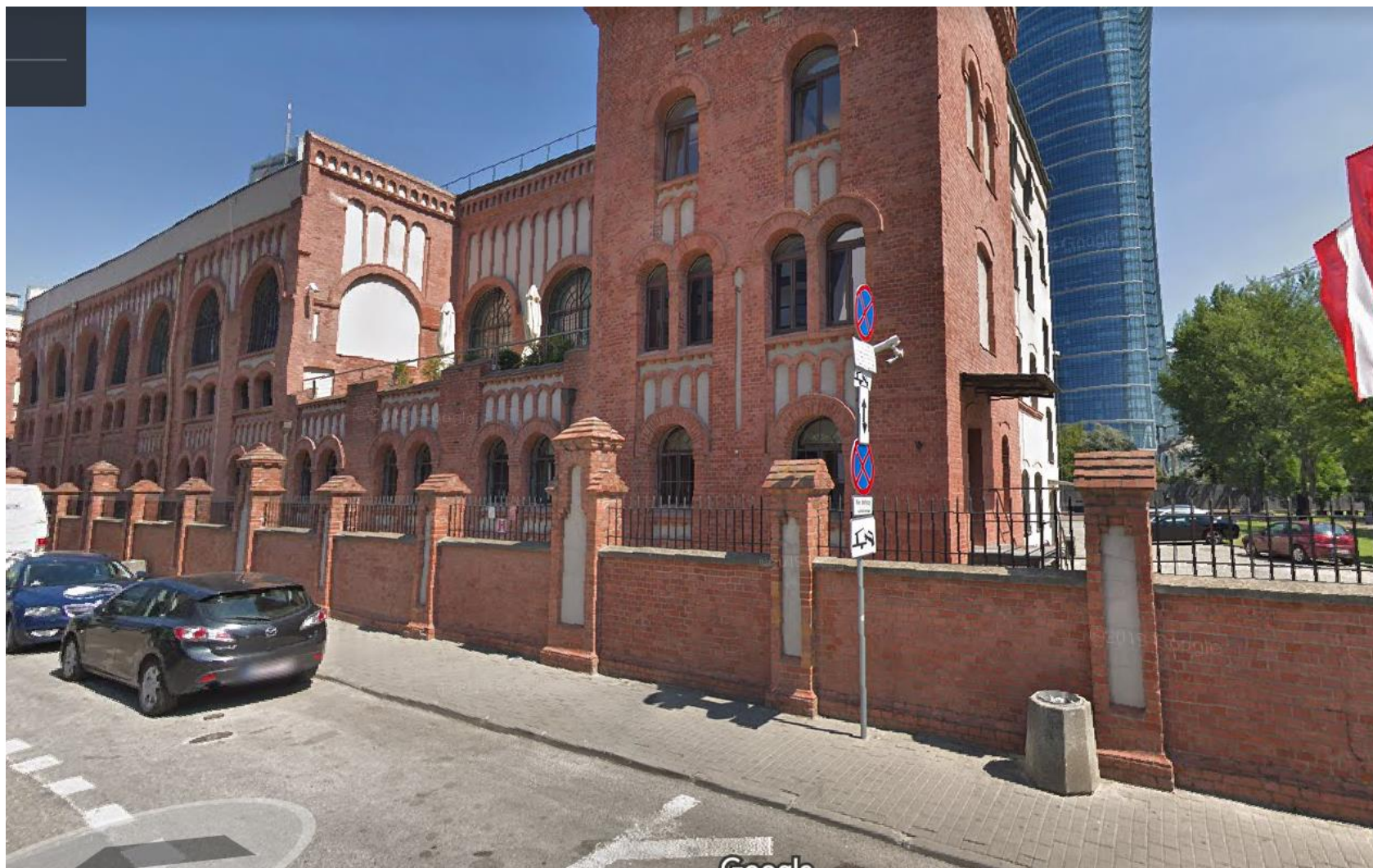
[ヴィラヌフ宮殿 - Google マップ](#)



# ワルシャワ蜂起博物館

- 戦時下のワルシャワで、ドイツ軍による占領からこの街を解放するために戦った国内軍の歴史を知ることができる壮大な博物館である。
- 第二次世界大戦中にワルシャワで戦禍により生じた街の被害と失われた人命はあまりに甚大で理解しつくすのは容易ではありませんが、ワルシャワ蜂起博物館は当時の様子を生き生きとよみがえらせます。
- ワルシャワ蜂起の発端から最終的な鎮圧まで、膨大な展示品がこの悲劇的な出来事について物語っています。
- ナチス占領下のワルシャワ市民の生活はどのようなものだったのか、そしてが圧倒的に不利な状況にも関わらず、いかにこの街のために63日間戦い続けたのかを知ることができます。
- 最終的にポーランドが降伏すると、ドイツ軍は報復としてワルシャワ市を徹底的に破壊し、生き残った市民を全員強制退去させました。その多くは二度とこの地を踏むことはなかったのです。

# ワルシャワ蜂起博物館



[ワルシャワ蜂起博物館 - Google マップ](#)



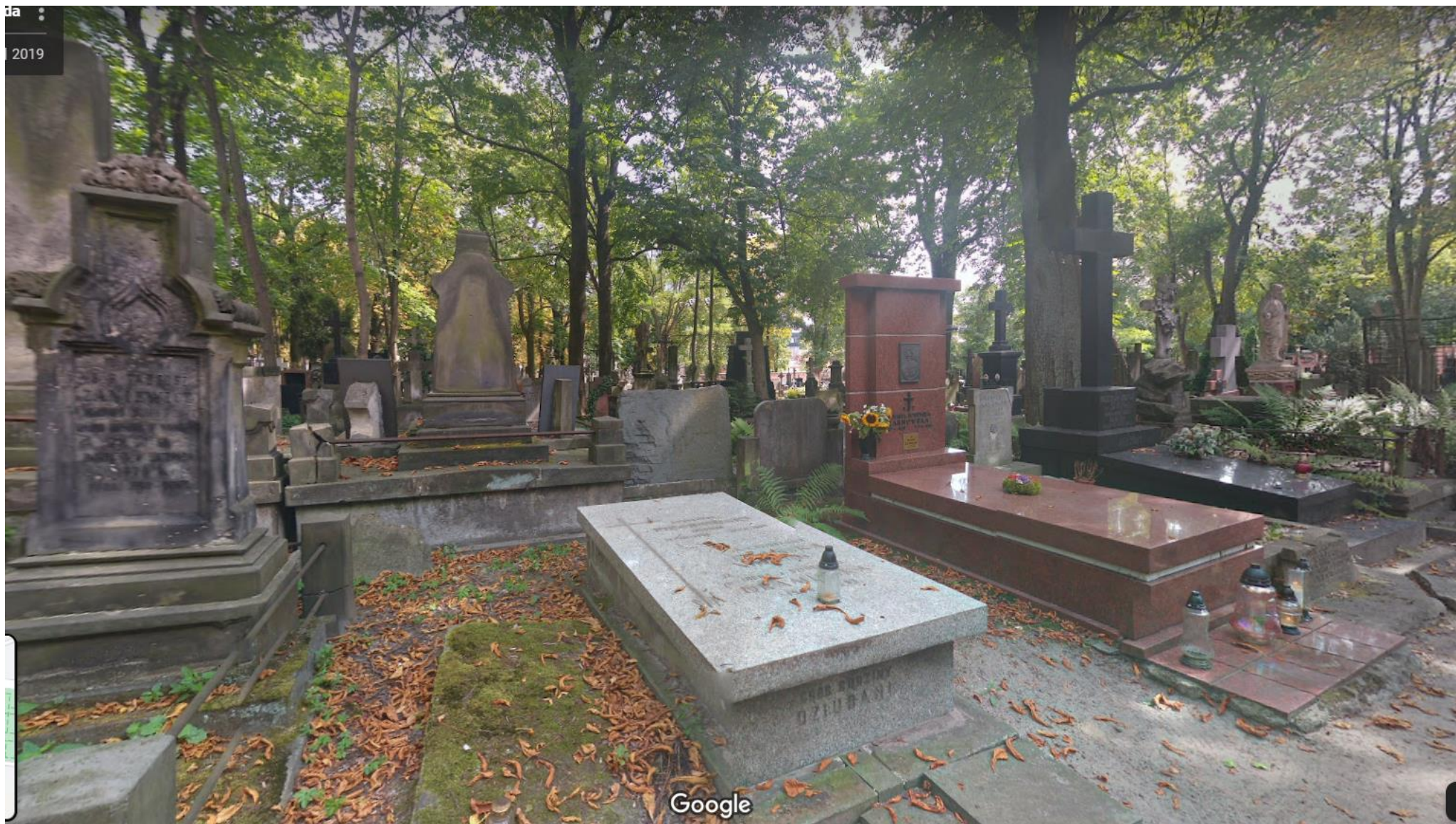
[ワルシャワ蜂起博物館 - Google マップ](#)



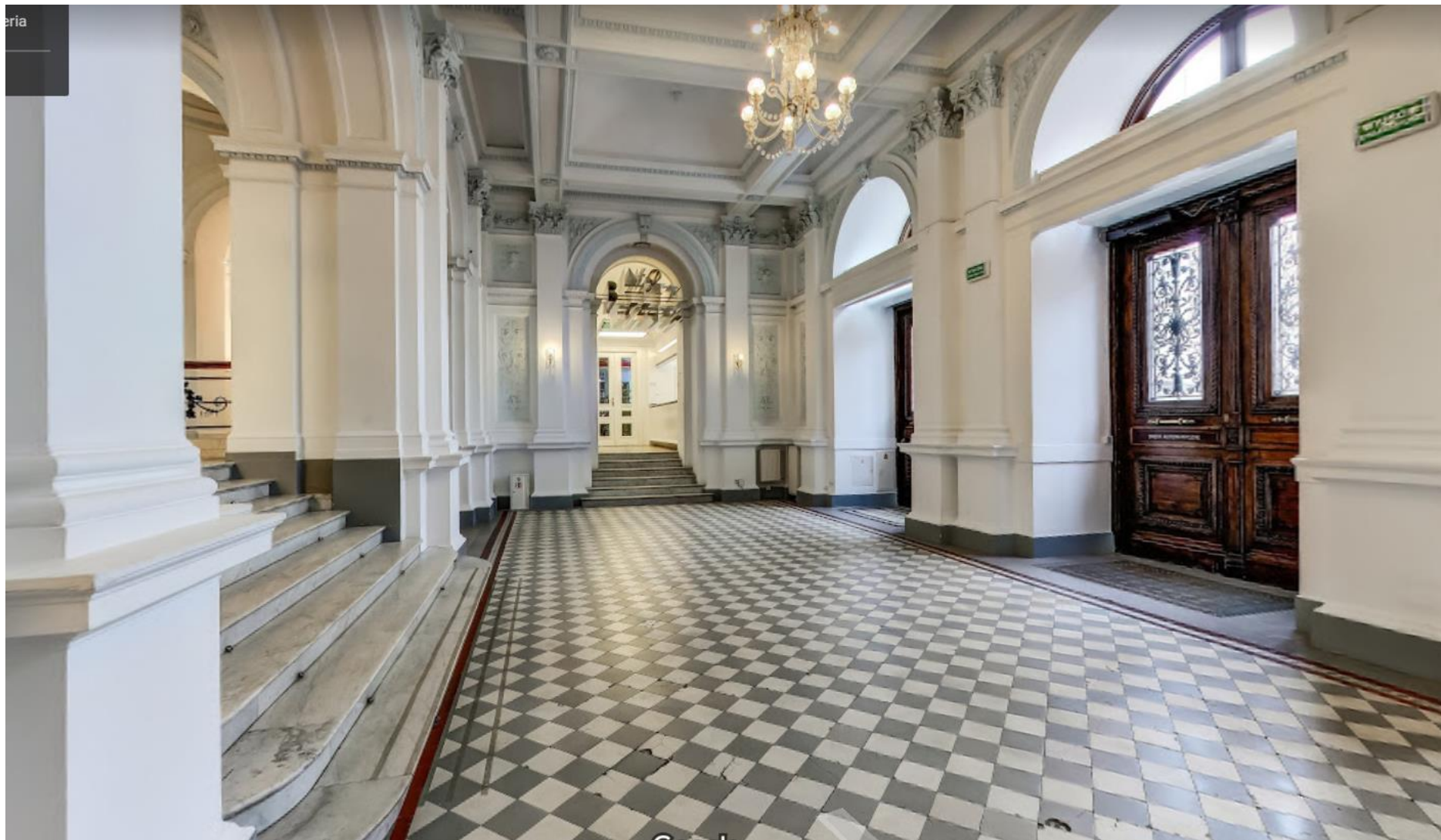


ポーランドには中世から多くのユダヤ人が住んでいたが、ここは現代に至るその1000年のポーランド系ユダヤ人の歴史を展示した博物館で、2013年にオープンした。

ユダヤ人やユダヤ教に関する展示はもちろん、ナチスによるユダヤ人迫害についても詳しく解説してある。



[ザヘンタ国立美術館 - Google マップ](#)



[Holy Trinity Church, Warsaw - Google マップ](#)





[民族博物館 - Google マップ](#)



[Kawiarnia-Księgarnia Bily Konicek Dania](#)  
[Wegetariańska Organizacja Przyjęć Kameralnych -](#)  
[ZAMKNIĘTA - Google マップ](#)

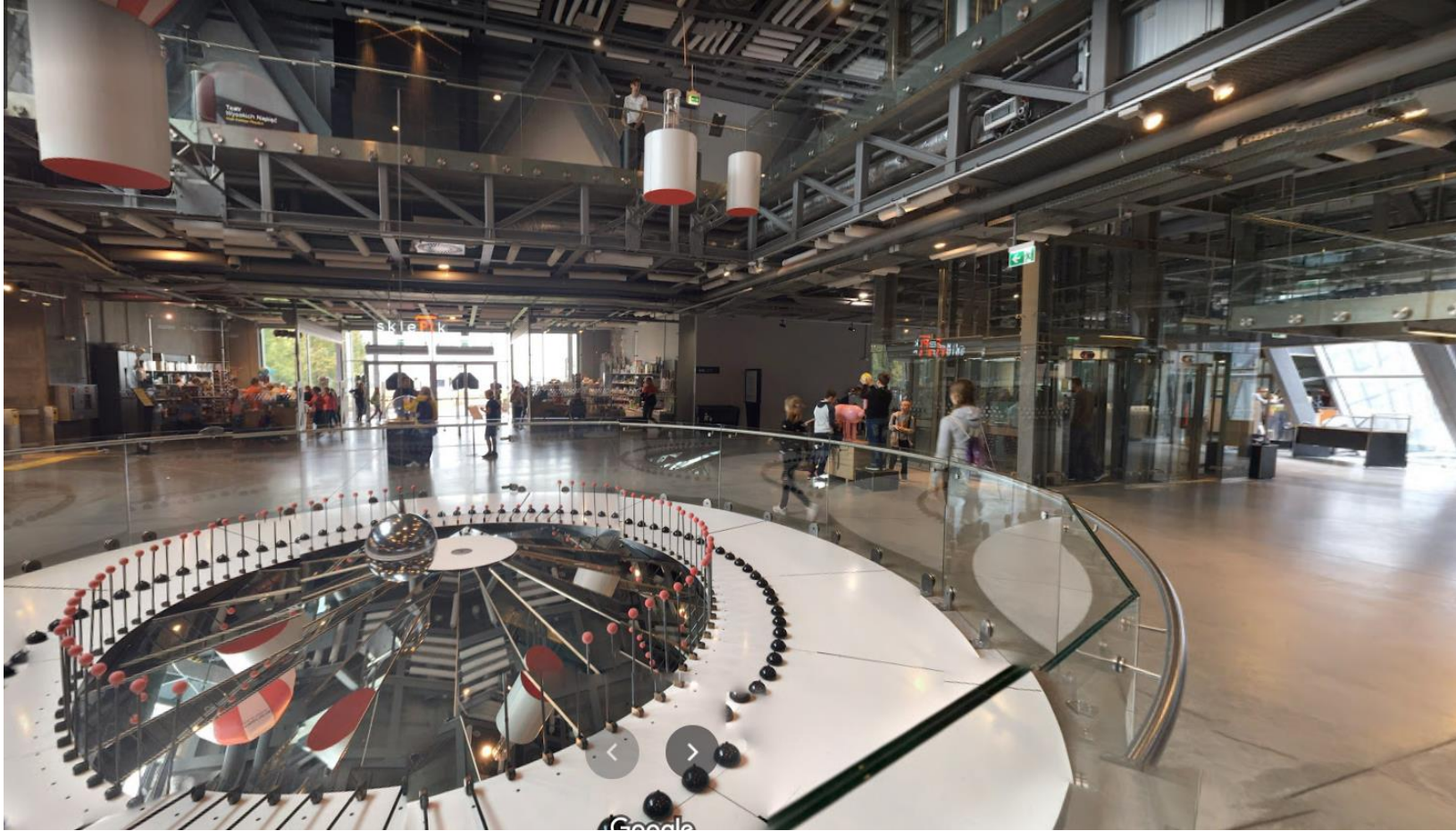
民族博物館



hograficzne



## コペルニクス科学センター - Google マップ



来館者が自分で実験を行ったり、科学の法則を発見したりできる450を超える体験型展示によって構成されている。

科学センターは、ポーランド最大の科学展示施設であり、ヨーロッパにおいても最新のものの1つである。

2012年9月25日、センターは200万人目の来館者を迎えた。

[コペルニクス科学センター - Google マップ](#)



[ワルシャワ国立美術館 - Google マップ](#)





2021/4/23 (金)  
インターネット世界旅行

# ポーランド ワルシャワの巻

## 終わり

[はじめての旅行の前にチェック【ワルシャワ観光ガイド】 | 海外旅行のSTW \(stworld.jp\)](#)

吉岡 芳夫

この資料は、インターネット上の情報を利用して作成しました。